

**阿部知二** 小説家・評論家・翻訳家。<軍国主義化>時代に、青春と知識人の内面を描いて多くの読者を獲得した。

あべともじ

日比谷公園・1903 = 岡山県勝田郡湯郷村で、中学教師阿部良平・もりよの次男に生まれる。父の赴任で島根県大社町に移り、

日露戦争終・1905 = 2歳 :

明治天皇没・1912 = 9歳 : 姫路市坊主町に移る。

原敬首相暗殺1921 = 18歳 :

姫路中学を5年制のところを4年で修了し、第八高等学校文科甲類(英文学科)に入学、

兄公平の影響で文学に近づき、短歌を学んで島木赤彦に接し、またトルストイやチェーホフを愛読する。

東京帝大時代にはじめての小説「化生」を大学の文芸部の雑誌{朱門}に発表し、

金融恐慌・1927 = 24歳 : 東京帝国大学英文学科を卒業し、大学院に進む。

共産党事件・1928 = 25歳 : 日大付属中学校教員となる。舟橋聖一らと雑誌{文芸都市}を創刊。

海軍軍縮条約1930 = 27歳 :

結婚。\*{新潮}国際色豊かなモダンな短編「日独対抗競技」を発表してデビュー。これを含む短編集「恋とアフリカ」と20世紀西欧文学の流れをくむ評論集「主知的文学論」をほぼ同時刊行。

満州事変・1931 = 28歳 :

\*キングスレの「ウオタ・ベビ(水の子)」,トルストイ「イワンの馬鹿」以降、翻訳も活発に行ない、{世界文学全集}の編者として翻訳界の盟主になって行く。

五一五事件・1932 = 29歳 :

翻訳「小説の構成」,

国際連盟脱退1933 = 30歳 :

明治大学文芸科専任講師。翻訳「批評」。舟橋聖一・田辺茂一らと雑誌{行動}を創刊。

帝人疑獄事件1934 = 31歳 :

評論「文学の考察」,英米文学評伝叢書の「メルヴィル」,

芥川直木賞始1935 = 32歳 :

ワイルド「獄中記」。(文学界)同人。

二二六事件・1936 = 33歳 :

ハーディ「緑の木蔭」シエリイ「詩と恋愛」。**長編小説「冬の宿」がベストセラーになる。**

日中戦争始・1937 = 34歳 :

長編「幸福」,「幻影」。英米文学評伝叢書の「パイロン」,

健保+総動員1938 = 35歳 :

評論「文学論集」。マーガレット=ミチエル「風に散りぬ」,「新訳パイロン詩集」。**長編「北京」など続々発表。**

第二次大戦始1939 = 36歳 :

「微風」「光と影」「街」「風雪」。評論「文学論」。シェイクスピア「お気に召すまま」レイモント「農民 第2部」,

大政翼賛会・1940 = 37歳 :

「朝霧」。翻訳「少女シリヤ」,

日米開戦・1941 = 38歳 :

陸軍に徴用され、

.....1942 = 39歳 :

宣伝班員としてジャワ島に赴いた後、日本文学報国会評論随筆部幹事。「旅人」「たをやめ」「孤愁」「道」。評論「文学のこころ」。**メルヴィル「白鯨」を初めて訳し、翻訳の代表作となる。**

創価学会検挙1943 = 40歳 :

東北帝大講師となる。一時上海に滞在。

年金+総武装1944 = 41歳 :

「火の島 ジャワ・バリ島の記」。上海のセントジョウンズ大学の講師となるが、

敗戦・.....1945 = 42歳 :

帰国。敗戦で東北帝大講師も退任。**戦後は自由主義者の立場に立って、**

新憲法公布1946 = 43歳 :

「貴族」,

新憲法施行1947 = 44歳 :

「青葉」,「草原の午後」「大河」「うつせみ」「わかもの」「死の花」,

極東裁判決1948 = 45歳 :

「夜の人」「緑衣」。評論「抒情と表現」,

三大事件・1949 = 46歳 :

「城 田舎からの手紙」「月光物語」「新聞小僧」「黒い影」。**明治大学文学部教授に就任、**

朝鮮戦争始1950 = 47歳 :

「生きるために」「砂丘」。翻訳「アーサー王物語」,以後5年かけメルヴィル「白鯨 第2-3巻」,**国際ペンクラブ大会に戦後初めて正式代表として出席し、欧州を旅行。**

独立回復・1951 = 48歳 :

「小夜と夏世」「漂泊」。評論「文学入門」「ヨーロッパ紀行」「世界文学への道」。ディケンズ「二都物語」,

M-テ-事件・1952 = 49歳 :

デフォー「ロビンソン・クルーソー」,ノイマン「ウィーンの子ら」。翌年にかけて「**阿部知二作品集(全5巻)**」が刊行される。母校の兵庫県立姫路西高等学校からの依頼で校歌を作詞(作曲は山田耕筰)。血のメーデー事件では、姫路中学の後輩黒岩敏郎が被告人となり、彼の依頼を受けて特別弁護人として法廷に立った。

TV放送始・1953 = 50歳 :

翻訳「若く逝きしもの」,

自衛隊発足1954 = 51歳 :

「朝の鏡」「沈黙の女」「花と鎖」。評論「現代の文学」「我が胸は自由 ブロンテ姉妹の生涯と芸術」。ラム「シェイクスピア物語ワイルド「幸福の王子」。**\*日本文化会議議長。女子寄宿舎を描いた長編「人工庭園」は、木下恵介監督「女の園」として映画化され、キネマ旬報ベストワンになった。**

55年体制始1955 = 52歳 :

「兄と妹」。評論「歴史のなかへ」「小説の読み方」。スメドレー「偉大なる道 朱徳の生涯とその時代」,ジャック=ロンドン「荒野の呼び声」,シャーロット=ブロンテ「ジェイン・エア」,

国連加盟・1956 = 53歳 :

「河岸落日」「青い森」「夜のなげき」。評論「夜明けに進む女性」,

なべ底不況1957 = 54歳 :

「雅歌」。評論「ブロンテ姉妹」。翻訳「あたりまえの女たち 世界の母親の記録」,

イヌタテマ-1958 = 55歳 :

評論「女性・文学・人生」。翻訳「解放の囚人 中国革命にまきこまれたアメリカ人夫婦」。コナン=ドイル「銀星号事件」「シャーロック・ホームズの生還」「ホームズの最後のあいさつ」以降、**シャーロック・ホームズシリーズの訳者としても知られる。**

美智子妃・1959 = 56歳 :

翻訳「チベット」,スチーブソン「宝島」,マーク=トウェイン「トム・ソーヤーの冒険」,ドイル「緋色の研究」「四人の署名」「バスカヴィル家の犬」「恐怖の谷」。「**日月の窓**」など**思想あるいは方法の面で注目すべき小説も残した。{わだつみの会}理事長に就任、**

安保闘争・1960 = 57歳 :

「花を踏む」。ドイル「シャーロック・ホームズの冒険」「回想のシャーロック・ホームズ」「シャーロック・ホームズの生還」「シャーロック・ホームズの最後のあいさつ」,

タイタイ病始1961 = 58歳 :

エミリー=ブロンテ「嵐が丘」キップリング「ジャングル・ブック」モーム「月と六ペンス」フォークナー「寓話」,

TV宇宙中継始1963 = 60歳 :

「白い塔」。評論「世界文学の流れ」。スコット「覆面の騎士」オースティン「高慢と偏見」,

東京リボルヴ1964 = 61歳 :

ストーリー「トムおじの小屋」,

大学紛争始1965 = 62歳 :

ローリングス「子鹿物語」,「シートン動物記」,以後5年「ウェルズSF傑作集」,

いざなぎ景気1966 = 63歳 :

翻訳「ラーマヤナ」,

美濃部都知事1967 = 64歳 :

翻訳「死の商人ザハロフ」,

霞ヶ関ビル1968 = 65歳 :

翻訳「銀色のしぎ」,オースティン「説きふせられて」。**明治大学教授を退職、**

全共闘.....1969 = 66歳 :

評論「良心的兵役拒否の思想」。翻訳「金の足のベルタ」,ハーディ「テス」,

大阪万博1970 = 67歳 :

評論「求めるもの 変動する世界と知性の試練」。翻訳「旧約聖書物語」。**{わだつみの会}理事長も退任し、**

ドルショック1971 = 68歳 :

評論「文学と人生」。翻訳「ヒロシマの花」,

石油ショック1973 = 70歳 :

食道癌となり、\*「捕囚」の口述筆記中に、**没した。翌年「阿部知二全集」全13巻が出された。**